サイド はって 年度

車級車業証価事 Λ (双成20年度 の宝繕評価)

記入年月日

	T 19400	十又					37 1773		ш 2.Х		' '		19423	十尺	υ ,	顺口一Ш.			平原	支	30 年		4	月	18	日
	事務事	サク		十许邓	≧慣病∋	小中主	¥									事業区分)					ł.	担当			
	争协争:	未白		土心色											新規/約			継続		事務	事業№.	0	102	010	003	324
					政策体	系上σ									単独/ネ			補助		퍤	属課			404		
政	総合計	†画のガ	拖策名		0102	_		りの推進							主要事	業				וכז	内面不		健	康推	進課	
策		政策名	1	С				者まで健	康で	共生	のまち	うづく	くり			フェスト										
体		施策名		С	2 健	隶づく	りの推	隹						オ	₹₽し	J事業				グル	レープ		健	康づ	くり	
系		手段名		С	1 1	建康づ	くりの	隹進						合併	注設計	画事業										
					財務会	計上の	D位置的	け						dlnl	第 業	期間										
콧	算科目	会計	款	項		事業	細				绘計				単年	F度繰返		(年度~					
		01	04	01 02 02 00 保健事業								□→ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量のを							の右	側に	記入					
法	令根拠	健康增	進法																							

1. 事務事業の現状把握(その1) (Do)

(1)事務事業の概要

①事務事業の概要(事務事業の全体像)

程川市において、死亡者数が多い死因は、がん(悪性新生物)、心疾患、脳 血管疾患であり三大死因となっている。生活習慣病は発症から重症化までの期 間が長く、重症化した場合医療費も大きくなることから、生活習慣の改善等の 生活習慣病の予防の取り組みが必要である。

生活省債物の予的の取り組みが必要である。 健康づくりに関する知識の普及啓発を図るため、真壁医師会桜川支部、歯科 医師会等の協力を得て、健康教室を実施する。具体的には、健康づくりの保持 増進のために市民健康講座(きらきら健康講座)、運動教室、各種団体への健 康教室を実施する。

また、機会ごとの健康相談事業を実施し、加えて疾病の重症化予防を図るために、健診結果をを基にハイリスク者へ病態別健康教育や訪問等による受診勧照などの個別性質を中性する

②担当者が行う業務の内容・やり方・手順

*健康増進事業に係る感染症予防事業費補助金(県補助金):健康教育 費、健康相談費、訪問指導費 健康教育については、講座の企画、講師依頼、対象の抽出、広報等に

奨	などの	個別指導を実施す	ける。	75/2031/2037/13	(0,31-5 5								
(2)	事務電	事業の手段・対象	・意図と各指	標、指標値の推和	9								
①手	段(排	旦当者の活動内容)		④活動指標	(活動量を	表す指標)		単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
				健康教室開催	回数				13.00	10.00	10.00	10.00	10.00
健康ご	づくりの	の普及推進のため	健康教室の開	重症化予防の 15(7)01(01		問件数 地域	域保健	件	112.00	133,00	100,00	100,00	100,00
重症化相談を		対策のため、家庭	訪問等の個別						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
									0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対	象(i	維、何を対象にして	(いるのか)	⑤対象指標	(対象の大	ささを表す指	標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
				人口				人	42,000.00	41,278.00	41,008.00	40,738.00	40,467.00
市民									0,00	0,00	0.00	0.00	0.00
									0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意[この事業によって対 るのか)	象をどう変え	⑥成果指標	(対象によ を表す指	がける意図の達 『標)	成度	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
亡 () 4	\ \tau \tau	ツ に明小、たまた	T11) 生活羽	健康で元気に 割合	暮らして	いると思う市	民の	%	73.30	74.20	75.00	76.00	77.00
	まにつけ	ごに関心を持ち、 け、健康管理に努		血圧(健診結	果有所見	率) KDB		%	7.20	7.00	7.00	6.90	6.80
7,417	₎ වං							%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(3)	投入	入量(事業費)の 国庫支出金	推移	28年度 (実績)				30年度 (計画)	0				間限定 総投入量 〇
.o =	財	県支出金 千円 地方債 千円		15	8	244			0				0
投事業費	源内訳	使用料・手数料	1 千円		0 2 0	0			0				0
入		その他一般財源	千円	7	7	105			493				481
	正	事業費計(A) 規職員従事人数	千円 人	23 8.00人	9	349	5	200人	493				481
量件費)	述べ業務時間 【件費計(B)	時間 千円	1,178.0 3,44	6	1,200.00 3,510		3	0.00 3,510				
	トータ	ルコスト(A)+(B) 2	千円 9年度事業費	3,68 実績(千円)	3	3,859		4	.,003	O年度事業費	 予算(千円)		
	3 報賞		106 133				O7 俱 O8 朝			26 166			
事 13	3 委託	料	93				11需	用費		208			
費	3 備品	購入費	17				13 妻	話料		93			
の —													
訳——													
				습 計		349						計	493
※下	記に該	F度の実施内容 当する事業は、年 業内容を記入する		30年度の事業に	Ŋ容		3	31年度	の事業内容		325	拝度の事業内 額	ř
・主要 ・市長 ・未来	要事業 ミマニフ ミアリミ	フェスト ┌──^	>										

 【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2) (5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? S57年老人保健保健法に基づき事業開始、平成20年度に法廃止となり健康増進法に変わった。生活習慣に起因するメタボリックシンドローム病等の増加など、生活習慣病を予防するための健康教育や疾病の重症化予防のための個別指導が重要となっている。 (6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 健康教室の終了後アンケート結果から、「内容に興味があったから」「テーマがおもしろそうだったから」という意見が多く、多くは広報とチラ 	
S57年老人保健保健法に基づき事業開始、平成20年度に法廃止となり健康増進法に変わった。生活習慣に起因するメタボリックシンドローム病等の増加など、生活習慣病を予防するための健康教育や疾病の重症化予防のための個別指導が重要となっている。 (6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
病等の増加など、生活習慣病を予防するための健康教育や疾病の重症化予防のための個別指導が重要となっている。 (6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	が糖尿
健康教室の終了後アンケート結果から、「内容に興味があったから」「テーマがおもしろそうだったから」という意見が多く、多くは広報とチラ	
	ラシを
みて参加している。今後聞きたい内容として、「認知症」「栄養」「高血圧や糖尿病」等の意見が多くあった。	
(7)前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
生活習慣病予防事業は、健康づくりの向上と重症化予防である。健康教育は国保データーヘルス計画の分析により	り、効果
的なテーマや講師を選定する。重症化予防事業はデータヘルス計画をもとに検討し連携し実施する。	
カサンデを	
は	
(See) 2. 評価の部 *原則は事前評価。	
評価項目 ① 取策体系との整合性(この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	
話びついている 健康づくりの推進の政策に結びついている。生活習慣を見直し改善することにより生活習慣病による死亡率を減少さ	5せる。
妥	
性 「妥当である 健康増進法に基づく事業であり、医療費抑制のためにも市が実施すべきである。	
③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	
	_
<u> </u> <u> </u> <u> </u> <u>向上余地がある</u>	Ď.
(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	
有 効 影響有 健康意識向上や生活習慣の見直しの機会が減少し生活習慣病の発症が増えることにより、医療費や介護給付費の増加 は生活習慣病による死亡者数の増加につながる。	J. 001C
11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	
⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか?(市以外の取り組みも含む))	
(他に手段がある場合) □ 具体的な手段、事務事業名 国保年金課のデータヘルス事業及びヘルスアップ事業に一部統合が可能である。	
連携ができる □連携ができる □連携ができる □連携ができる	 課との連
携の可能性がある。	
⑥事業費・人件費の削除余地(成果を下げずに事業費を削除できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	
本	
性 個別教育や訪問については、委託せず保健師・栄養士が直営で実施している。	
公正・公平である 公正・公平である 公本 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	
【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)	
Plan 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映) (1) 1 次評価者としての評価結果 (2) 全体総括(振り返り、反省点)	こいる。参
【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映) (1) 1次評価者としての評価結果 (2) 全体総括(振り返り、反省点) 健康教育は、健康増進計画や市民の要望に基づき身近なテーマを選定し実施して 加者は60歳以降の女性が多く属性に偏りがある。効果的な対象集団のアプロー・	チが課題
【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映) (1) 1次評価者としての評価結果 (2) 全体総括(振り返り、反省点) 健康教育は、健康増進計画や市民の要望に基づき身近なテーマを選定し実施して がある。効果的な対象集団のアプロー・である。の機実が高いでは、嘱託保健師の採用により実績は伸びた	チが課題 こが、主に
【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映) (1) 1次評価者としての評価結果 (2) 全体総括(振り返り、反省点) (健康教育は、健康増進計画や市民の要望に基づき身近なテーマを選定し実施して 加者は60歳以降の女性が多く属性に偏りがある。効果的な対象集団のアプローである。個別教育や訪問指導においては、嘱託保健師の採用により実績は伸びた 国保の保健事業と重なるため、委託事業、対象者者抽出や分析等連携が必要である。	チが課題 こが、主に
【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映) (1) 1次評価者としての評価結果 (2) 全体総括(振り返り、反省点) 健康教育は、健康増進計画や市民の要望に基づき身近なテーマを選定し実施して がある。効果的な対象集団のアプロー・である。の機実が高いでは、嘱託保健師の採用により実績は伸びた	チが課題 こが、主に
【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映) (1) 1次評価者としての評価結果 (2) 全体総括(振り返り、反省点) (健康教育は、健康増進計画や市民の要望に基づき身近なテーマを選定し実施して がある。効果的な対象集団のアプロージを表現しての評価は、関連を表現しています。 (2) 全体総括(振り返り、反省点) (健康教育は、健康増進計画や市民の要望に基づき身近なテーマを選定し実施して がある。効果的な対象集団のアプロージである。個別教育や訪問指導においては、嘱託保健師の採用により実績は伸びた 国保の保健事業と重なるため、委託事業、対象者者抽出や分析等連携が必要である。 (3) 今後の事業の方向性	チが課題 こが、主に ある。
【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映) (1) 1次評価者としての評価結果 (2) 全体総括(振り返り、反省点) (建康教育は、健康増進計画や市民の要望に基づき身近なテーマを選定し実施して 加者は60歳以降の女性が多く属性に偏りがある。効果的な対象集団のアプローである。個別教育や訪問指導においては、嘱託保健師の採用により実績は伸びた 国保の保健事業と重なるため、委託事業、対象者者抽出や分析等連携が必要である。 (3) 今後の事業の方向性	チが課題
【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映) (1) 1次評価者としての評価結果 (2) 全体総括(振り返り、反省点) (建康教育は、健康増進計画や市民の要望に基づき身近なテーマを選定し実施して 加者は600歳以降の女性が多く属性に偏りがある。効果的な対象集団のアプローである。個別教育や訪問指導においては、嘱託保健師の採用により実績は伸びた 国保の保健事業と重なるため、委託事業、対象者者抽出や分析等連携が必要である。 (3) 今後の事業の方向性 (4) 改革・改善による (後了・廃止・休止の場合は (終了・廃止・休止の場合は	チが課題こが、主にある。
【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映) (1) 1次評価者としての評価結果 (2) 全体総括(振り返り、反省点) 健康教育は、健康増進計画や市民の要望に基づき身近なテーマを選定し実施して 加者は60歳以降の女性が多く属性に偏りがある。効果的な対象集団のアプローである。個別教育や訪問指導においては、嘱託保健師の採用により実績は伸びた 国保の保健事業と重なるため、委託事業、対象者者抽出や分析等連携が必要である。 (3) 今後の事業の方向性 (3) 今後の事業の方向性 (4) 改革・改善による (終了・廃止・休止の場合は 有効性の改善 カ効性の改善 コスト	チが課題 きが、主に ある。 あ期待成果 は記入不要)
【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映) (1) 1次評価者としての評価結果 (2) 全体総括(振り返り、反省点) 健康教育は、健康増進計画や市民の要望に基づき身近なテーマを選定し実施して 加者は60歳以降の女性が多く属性に偏りがある。効果的な対象集団のアプローである。個別教育や訪問指導においては、嘱託保健師の採用により実績は伸びた 国保の保健事業と重なるため、委託事業、対象者者抽出や分析等連携が必要である。 (3) 今後の事業の方向性 (3) 今後の事業の方向性 (4) 改革・改善による (終了・廃止・休止の場合は 同規ができる 「関数回答可)」 「複数回答可)」 「複数回答可)」 「自的の再設定 」 効率性の改善 「対域・廃合ができる 」 連携ができる 「関域」経持	チが課題 きが、主に ある。 あ期待成果 は記入不要)
【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映) (1) 1次評価者としての評価結果 (2) 全体総括(振り返り、反省点) (1) 自的妥当性	チが課題 きが、主に ある。 あ期待成果 は記入不要)
【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映) (1) 1次評価者としての評価結果 (2) 全体総括(振り返り、反省点) (連康教育は、健康増進計画や市民の要望に基づき身近なテーマを選定し実施して 加者は60歳以降の女性が多く属性に偏りがある。効果的な対象集団のアプローである。個別教育や訪問指導においては、嘱託保健師の採用により実績は伸びた 国家の率性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ④公平性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ④公平性 ■ 適切 □ 見直し余地あり 「見直し余地あり」 (3) 今後の事業の方向性 (複数回答可) 「総済・廃止・休止の場合は「最初性の改善」である。「は数回答可)」 「関係止 □ 休止 □ 現状維持 □ が廃合ができる ■ 連携ができる □ 対率性の改善 □ ストト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	チが課題こが、主にある。 多期待成果は記入不要) ト 増加
【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映) (1) 1次評価者としての評価結果 (2) 全体総括(振り返り、反省点) 健康教育は、健康増進計画や市民の要望に基づき身近なテーマを選定し実施して 加者は60歳以降の女性が多く属性に偏りがある。効果的な対象集団のアプロージある。個別教育や訪問指導においては、嘱託保健師の採用により実績は伸びた 国保の保健事業と重なるため、委託事業、対象者者抽出や分析等連携が必要である。個別教育や訪問指導においては、嘱託保健師の採用により実績は伸びた 国保の保健事業と重なるため、委託事業、対象者者抽出や分析等連携が必要である。個別教育や訪問指導においては、嘱託保健師の採用により実績は伸びた 国保の保健事業と重なるため、委託事業、対象者者抽出や分析等連携が必要である。個別教育や訪問指導においては、嘱託保健師の採用により実績は伸びた 国保の事業の方向性 (複数回答可) 「終了・廃止・休止の場合は「複数回答可」」 対象性の改善 コスト (総子・廃止・休止の場合は	チが課題こが、主にある。 多期待成果は記入不要) ト 増加
【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映) (1) 1次評価者としての評価結果 (2) 全体総括(振り返り、反省点) 健康教育は、健康増進計画や市民の要望に基づき身近なテーマを選定し実施して 加者は60歳以降の女性が多く属性に偏りがある。効果的な対象集団のアプロージある。個別教育や訪問指導においては、嘱託保健師の採用により実績は伸びた 国保の保健事業と重なるため、委託事業、対象者者抽出や分析等連携が必要である。個別教育や訪問指導においては、嘱託保健師の採用により実績は伸びた 国保の保健事業と重なるため、委託事業、対象者者抽出や分析等連携が必要である。個別教育や訪問指導においては、嘱託保健師の採用により実績は伸びた 国保の保健事業と重なるため、委託事業、対象者者抽出や分析等連携が必要である。「複数回答可」 経了 ■ 継続 ■ 改革改善を行う ■ 自的の再設定 □ 効率性の改善 □ 公平性の改善 □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	チが課題こが、主にある。 多期待成果は記入不要) ト 増加
【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映) (1) 1次評価者としての評価結果 (2) 全体総括(振り返り、反省点) 健康教育は、健康増進計画や市民の要望に基づき身近なテーマを選定し実施して 加者は60歳以降の女性が多く属性に偏りがある。効果的な対象集団のアプローである。個別教育や訪問指導においては、嘱託保健師の採用により実績は伸びた 国家効率性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ④公平性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ④公平性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ● 見直し余地あり (3) 今後の事業の方向性 (複数回答可) □ 総続 □ 現状維持 □ 砂率性の改善 □ 公平性の改善 □ 公平性の改善 □ 公平性の改善 □ 公平性の改善 □ 公平性の改善 □ 対状維持 □ 統廃合ができる ■ 連携ができる □ 前減 種持 □ 向 □ 上 □ 現状維持 □ 成善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 □ 成本・改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 □ は、経験寿命延伸を目指すためには重要である。ポピュレーションアプローチによる健 成本 経験 ■ は、経験 ■	チが課題こが、主にある。 多期待成果は記入不要) ト 増加
【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映) (1) 1次評価者としての評価結果 (2) 全体総括(振り返り、反省点) (3) 会体に偏りがある。効果を原団の対策により実績は中びたるるに対策の保健事業と重なるため、委託事業、対象者者抽出や分析等連携が必要である。 (4) 改革・改善による(終了・廃止・休止の場合は経験である。 (4) 改革・改善による(終了・廃止・休止の場合は経験で・検討・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	チが課題 こが、主にある。 る期待成果 は記入不要) ト
【Plan】 3、評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映) (1) 1次評価者としての評価結果 (2) 全体総括(振り返り、反省点) (2) 全体総括(振り返り、反省点) (2) 全体総括(振り返り、反省点) (2) 全体総括(振り返り、反省点) (3) 学の事業の方向性 □ 適切 □ 見直し余地あり □ 別事での改善 □ 公平性の改善 □ 公平性の改善 □ 公平性の改善 □ 対策性の改善 □ 対策維持 □ 対策維持 □ 対策維持 □ 対策を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 「健康教育は、健康考命延伸を目指すためには重要である。ポピュレーションアプローチによる健康づくりへの取り組みへの支援と生活習慣病の重症化予防対策は今後ますます重要となる。 □ 10 1 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1	チが課題 こが、主にある。 る期待成果 は記入不要) ト
【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映) (1) 1次評価者としての評価結果 (2) 全体総括(振り返り、反省点) (1) 目的妥当性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ②有効性 □ 適切 □ 見直し余地あり ②有効性 □ 適切 □ 見直し余地あり ③効率性 ■ 適切 □ 見直し余地あり 日直し余地あり 日直し余地あり □ 別切 □ 見直し余地あり □ 見直し余地あり □ 別切 □ 見直し余地あり □ 別方である。個別教育や訪問指導においては、嘱託保健師の採用により実績は伸びた。国保の保健事業と重なるため、委託事業、対象者者抽出や分析等連携が必要である。「後で、保健事業と重なるため、委託事業、対象者者抽出や分析等連携が必要である。「人力である。」 □ 別が継持 □ 以本性の改善 □ 以本性の表述を述述を述述を述述を述述を述述を述述を述述を述述を述述を述述を述述を述述を述	チが課題 こが、主にある。 る期待成果 は記入不要) ト
【Plan】 3、評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映) (1) 1次評価者としての評価結果 (2) 全体総括(振り返り、反省点) (2) 全体総括(振り返り、反省点) (2) 全体総括(振り返り、反省点) (2) 全体総括(振り返り、反省点) (3) 学の事業の方向性 □ 適切 □ 見直し余地あり □ 別事での改善 □ 公平性の改善 □ 公平性の改善 □ 公平性の改善 □ 対策性の改善 □ 対策維持 □ 対策維持 □ 対策維持 □ 対策を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 「健康教育は、健康考命延伸を目指すためには重要である。ポピュレーションアプローチによる健康づくりへの取り組みへの支援と生活習慣病の重症化予防対策は今後ますます重要となる。 □ 10 1 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1	チが課題にある。 る期待成果 は記入下費加 〇 一 一 一 一 一 一 一 一 一
(Plan) 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映) (1) 1次評価者としての評価結果	チが課題にある。 る期待成果 は記入下費加 〇 一 一 一 一 一 一 一 一 一
(Plan) 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映) (1) 1次評価者としての評価結果 (2) 全体総括 (振り返り、反省点) (1) 1次評価者としての評価結果 (2) 全体総括 (振り返り、反省点) (3) 学の対象集団のアプローである。個別教育や訪問指導においては、嘱託保健師の採用により実績は伸びた。	チが課題にある。 る期待成果は記入不要) 「増加」 「価結果
【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映) (1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性	チが課題にある。 る期待成果は記入不要) 「増加」 「価結果
【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映) (1) 1次評価者としての評価結果 (2) 全体総括(振り返り、反省点) (2) 全体総括(振り返り、反省点) (2) 全体総括(振り返り、反省点) (2) 全体総括(振り返り、反省点) (3) 学の学生が多く属性に偏りがある。効果的な対象集団のアブローである。個別教育や助問指導においては、嘱託保健師の採用により実績は伸びた。	チが課題にある。 る期待成果は記入不要) 「増加」 「価結果